

保護者の要望・質問への返答書

1,

◎未就園児の一時預かりを再開してほしい。

- ・在園児以外の一時的預かりは、園児数が定員に満たない場合に限りお子さんをお預かりするというシステムです。(以上児・・・3, 4, 5歳児も同じシステムで一時的預かりを実施)本年度4月から一時預かりをスタートしていましたが、2学期には未満児が定員に達しましたのでお預かりを中止しました。
- ・来年度4月から、一時預かりを再開する予定です。ただし、園児数が定員数に達した時点で、在園児以外の一時的預かりを中止します。
- ・一時預かりの内容が本年度とは幾分違っています。先日配布しました「預かり保育(オレンジコース)について」のプリントをご覧ください、ご質問がありましたらお申し出ください。

2

◎午前保育の期間が長すぎる。

- ・教育相談や一日入園、わくわくランド等の行事の実施や、学期末の学籍整理等のため、各学期末に午前保育を実施しています。(一日入園やわくわくランドは、職員4, 5名で対応したいため、職員の勤務シフトを考えますと、午後13時～15時の間に実施することとなります。)また、各学期初めは、休み明けから園生活への移行がスムーズに行くために午前保育を実施しています。この度、午前保育が長すぎるというご意見がありましたので、来年度に向けて少しでも午後保育を長くできるよう検討をしています。
- ・4月の学期初めの午前保育を最も長くとっています。これは入園式、家庭訪問、PTA総会、また新入園児が園生活に慣れることを考慮した結果ですので、現時点では4月の午前保育を短くすることは難しい状態ですのでご理解下さい。

3

◎参観日はあるが保護者会などはない。

- ・小学校などは、参観日の後に保護者会が行われていますが、幼稚園としては参観日後、子ども達の保育がありますので保護者会を実施することが難しい状態です。(現在は1学期に学級懇談を1回実施)園に対するご意見や保護者会をご希望の場合はご遠慮なくお申し出ください。その都度保護者会実施に向けて検討します。

4

◎降園後、子どもをみていない保護者がいるため、安全面に不安を感じる。

- ・降園時、保護者同士でお話をされる際は、園庭に入り子ども達の安全を確認しながらお話をしようお願いします。

◎園関係業者の車が、スピードをだして駐車場内に入ってくる。

- ・安全運転に関して業者に注意勧告をしています。今後危険な運転を見かけた場合、車種などお知らせいただくと助かります。

5、

◎クラスに教師が一人なので、サポートがないと大変だと思う。

◎年少クラスはまだ教師のサポートが必要な場合が多いと思うので、教師1人では大変だと思う。

- ・国の規定では、4、5歳児クラスは園児30人に対して教師が1人、3歳児クラスは園児20人に対して教師が1人となっています。本年度はこの規定に従って、3クラスとも1人担任でスタートしましたので、クラス担任の援助として主幹教諭、オレンジ担当職員、園長が全クラスの状況に合わせて援助に入るようにしました。ご指摘のように以上児では3歳児クラスに最も援助が必要となりますが、未満児クラスの援助に入ったり職員欠勤の対応などで、常時3歳児クラスに補助職員を配置することができませんでした。来年度は3歳児クラスの援助に主幹教諭あるいは補助職員が常時入れるよう職員配置を検討しています。

◎各学期の子どもの様子を、出席ノート（シール帳）に書いてもらえると保護者として安心できる。また子どもの励みになると思う。

- ・お子さんの成長や園生活での様子については、教育相談会に限らず日頃から保護者の皆様へお伝えするようにしていますので、あえて出席ノート（シール帳）でお知らせする必要がないと思っていました。この度、上記のようなご希望がありましたので、お子さんの成長ぶりをお伝えする方法を検討しています。

◎担任に伝えたことを他の職員も共通理解をしておいてほしい。

- ・保育に必要な子どもたちの情報に関して、全職員あるいは未満児クラスの職員間のみ、または以上児クラスの職員間のみで共通理解をするようにしています。職員間の伝達が出来ていなかったことに関して反省をして、今後はこのようなことがないよう共通理解をすべき情報については、職員会議で話し合っていきたいと思っています。

6、

◎折り紙を折れるようになってほしい。

- ・折り紙は幼児にとって少し難しい活動です。まだまだ指先が未分化なため思うように折ることができません。無理をさせることで折り紙が嫌いになってはいけませんので、個々の発達状態を見ながら、簡単な折り紙の指導を行っています。年齢が高くなるに従って指先も発達してきますので少し複雑な折り紙も折れるようになってきます。指導計画では折り紙活動を多く取り入れていませんが、自由遊びの際に色紙を自由に使用せる日を設け、1対1で折り紙の指導をしています。指先が発達してから折り紙の活動をさせても決して遅くないと思います。

◎年長児になるとのひらがなを書けるようにしてほしい。

◎少しでもよいので勉強（数字やひらがな）の時間を作ってもらえるとうれしい。

- ・幼稚園は小学校とは違い、算数の時間や国語の時間などは設けていません。文字や数を覚えさせる指導は基本的には行わず、そのことに興味を持たせるよう指導を行っています。文字や数字に関する壁面や教材を準備し、子ども達が好むゲーム形式にするなどして、興味を持たせるようにしています。教材を考え作る際、ワークや関連書物に目を通すなど、教材研究は十分行い内容を考えています。
- ・子どもの成長には個人差があります。まだひらがなや数字に興味がない時期に無理に教え込もうとするとその活動が嫌いになり逆効果になりかねません。興味を示した時に1対1でじっくり教えてあげると良いと思います。
- ・教え込むことはある意味簡単かもしれませんが、それは幼稚園教育とは言えないと思います。なかなか文字か書けなくても、集中力・思考力・持続力が養われていれば心配する必要はありません。園では、いろいろな活動を通して、集中力・思考力・持続力が身につくよう指導をしています。

◎「なぜ、どうして」をこどもにしっかり説明をしてほしい。こどもが良い行動をした時に、回りの子にその行動の何が良いかなどを話してほしい。

- ・幼児教育に携わっている者にとっては上記のような指導は常に念頭に置いておかなければならない大切なことです。今後も職員の教育を徹底し、子ども達を良い方向へ導くことができるよう園全体で努めたいと思います。

◎「良い子のプレゼント袋からサンタさんが取りに来る」という教師のことば掛けを少し疑問に思う。最後にプレゼント袋が残った子は自分が悪い子だと思うのではないか。

- ・子ども達に対する担任のことば掛けが、もしかすると上手く伝わらなかったのかもしれませんが、良い子のプレゼント袋をサンタさんが取りに来るのではなく、良いことをした子のプレゼント袋をサンタさんが持って行くというふうに子ども達には声掛けをしていると思います。袋がなくなった場合、なぜサンタさんが袋を持って行ったのかみんなで考えさせます。そうすることで、悪い子だからサンタさんが袋を持って行ってくれないという気持ちにさせないよう配慮します。子ども達に対することば掛けについて十分反省をして、今後の保育に臨むよう指導します。

